

千葉県への新技術の提案

NO.

作成日 2025/8/●●

新技術概要									
技術の名称	超高輝度○○○				情報収集年月日				
					NETIS 番号				
副題	反射シート				登録(申請)年月日				
技術活用検討委員会	済 ○ 未		効 果	○ 1 コストの削減		分 類	○ 1 工法		
	開催年月日			○ 2 安全性向上			○ 2 材料		
				3 品質の向上			3 機械		
出先機関部会	済 ○ 未			4 工期の短縮			4 情報		
	開催年月日			5 環 境			5 その他		
開発者	氏名	××××株式会社							
	住所	東京都○○区△△町 1-2-3				TEL	03-1234-5678		
問合せ先	氏名	○○○○株式会社 麻生一郎							
	担当部署	資材部							
	住所	千葉県××市△△ 123							
	TEL	043-123-4567				FAX	043-123-6789		
	URL	www.○×△.co.jp/							
	E-mail	○×△@○×△.co.jp							
概要	防護柵設置基準改訂により今後ダークブラウン・ダークグレー・グレーベージュの防護柵が増える事が予想される。従来同様景観3色防護柵にも夜間の視線誘導を目的として、視線誘導標を設置の場合、視線誘導標設置基準において反射体の色は白・黄と定めている為、防護柵の色との調和及び昼間の良好な景観形成を阻害する場合がある。このような場合、△△△△△△△△の超高輝度○○○反射シートを景観色防護柵支柱に巻きつけることにより、歴史的建造物や歴史的町並みが形成されている地域などにも昼間の景観を阻害することなく、視線誘導機能を確保する事が可能である。又、従来の視線誘導標と比べ、歩行者等が接触する恐れも少なく、材料単価・破損・悪戯等の補修コストを削減可能である。								
特徴	・反射体が樹脂成型品でない為、車両及び歩行者が接触する危険性が極めて低い ・素材が××構造の為、細い支柱にも貼り付けが可能 ・世界最高の反射輝度 ・昼間、景観を害さずに周囲の景観と調和し、夜間はヘッドライトの光で視線誘導を促す								
施工方法	・貼り付け面のごみ・油分等の付着を除去後、離型紙を剥がして貼り付け ・路面上高さ50センチ以上100センチ以下が施工位置としては望ましい。								
施工・材料単価(従来との比較)	従来: 視線誘導標100φ 約¥2,100~4,350/本(建設物価による) 超高輝度○○○ ¥1,000円/枚								
適用条件・範囲	・自然条件-30° から+80° ・可燃物の為、トンネル内の防護柵及び車止め等の支柱は除く防護柵・車止め								
施工・使用後の環境への影響	鉛・水銀・六価クロム・カドミウム等のROHS規制対象含まず ボルト等の突起物がない為、良好な景観形成可能 破損時の歩行者等への二次災害の危険性極めて低い								
施工・使用上の留意点	本来反射シートは視線誘導標としての位置付けではないので、設計・施工の際には、管轄の関係各省及び自治体との打ち合わせが必要である。								
官公庁との実績状況(相手先、件数など)	国土交通省 30件 地方自治体 30件 合計60件 (うち県内では、千葉県○○地域整備センター2件、××市1件、△△町1件)								
その他(グリーン購入法、建設技術審査証明書・GISなど)	該当なし								

評価・分類は該当する項目に○を付すこと

裏面には、写真等(特に指定なし)

* 本資料はメーカー等から提案されたものであり内容についての詳細は別途メーカー等へ問合せ下さい